

# 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

〒136 - 0071 東京都江東区亀戸 7-10-1 Z ビル 5 階  
中皮腫・じん肺・アスベストセンター内  
中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会  
電話番号：03-5627-6007 FAX：03-3683-9766

2012年01月16日

各 位

## 九州・アスベスト健康被害相談ホットラインの開設と 「アスベスト患者と家族の集い」の開催について

私たちの活動に対する、日ごろのご支援とご協力に御礼を申し上げます。

2004（平成16）年2月7日、日本で初めて、中皮腫の患者本人が参加する全国的な「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」が設立されました。この会は、アスベスト疾患（中皮腫、肺がん、石綿肺、石綿胸膜炎、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚など）になった患者とその家族が主体となって構成されています。

この会のお世話をさせていただく事になりました私達ですが、私たちも悪性中皮腫やその他のアスベスト疾患に罹患した患者と家族であり、アスベストによって家族を亡くした遺族でもあります。私たちは、設立からの約8年間、以下の3点を柱に活動を進めてきました。第1には、病気になった者とその家族同士の交流の場づくり。第2には、原因を明らかにする事を通じ労災保険の適応あるいは環境災害としての救済のお手伝い。第3に、患者と家族のおかれる実情を十分調査し、医療関係者と行政関係者と関連する企業へその声を伝える活動です。その結果、現在、全国に11の支部が誕生し、地域の特色を活かした活動を進めています。

アスベストを原因として発症する悪性中皮腫は、予後の悪い疾病であり、平均余命は1年半とも言われています。中皮腫による死亡者数は、毎年全国で1,000名を超えるようになっており、アスベスト被害はこれからさらに拡大が予想されています。

九州の各県においても中皮腫の死亡者数は増加傾向（別紙参照）にあり、九州全域では年間約150名の方が亡くなっています。ところが、中皮腫を発症し労働災害として補償（時効救済を含む）を受けた方の人数は、クボタ・ショック（2005年）後の2006年度の147名をピークに、その後は減少傾向にあり2010年度は55名という状況です（別紙参照）。また、中皮腫の2倍と言われる石綿肺がんについては、中皮腫を発症した方よりも大幅に少ない補償状況となっています。アスベストによる健康被害を受けながら、救済されていない方々が数多く埋もれていることが、別紙の一覧表から十分推認することができます。

今回、私たちは、九州の各地域における被害者の掘り起こしと救済に取り組むため、そしてアスベスト被害同士の交流を行うため、下記の日程でアスベスト健康被害相談ホットラインを開設し、合わせて「患者と家族の集いの集い」を企画しました。

つきましては、ご協力をお願いするとともに、多くの方々にご紹介いただきますようお願いいたします。

## 記

### 1. 九州アスベスト健康被害相談ホットライン

- ◆ 開設日時： 2012年01月28日（土）～29日（日）  
両日とも10時00分～16時00分
- ◆ 開設場所： 福岡市博多区博多駅東1-16-25 ASC（アスク）ビル
- ◆ 内 容： アスベストによる健康被害に関する電話相談  
\*希望される方については、会場での面談も行います。  
どんな事でもお気軽にご相談下さい。  
相談は無料。予約は不要。
- ◆ 電話番号：  
**070-5401-6994**  
**070-5401-6007**  
**070-5401-1172**

\*上記の電話番号（3回線とも）は、二日間以外でも相談に対応します。

- ◆ 相談スタッフ： アスベスト問題に取り組む下記の団体の専門相談スタッフ  
アスベストセンター／中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会／  
全国労働安全衛生センター連絡会議

### 2. アスベスト患者と家族の集い

- ◆ 日時： 2012年01月29日（日） 13時30分～15時30分
- ◆ 会場： 福岡市博多区博多駅東1-16-25 ASC（アスク）ビル  
4F B室
- ◆ 内容： 患者と家族同士の意見交換、情報交換、交流  
\*この「集い」はオープン企画ですので、アスベストを原因とする疾病の患者さんやご家族の方でしたら、どなたでも参加自由です。  
参加費も必要ありません。

連絡担当：中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会  
九州支部準備会世話人 峰平あけみ  
(070-5401-6994)